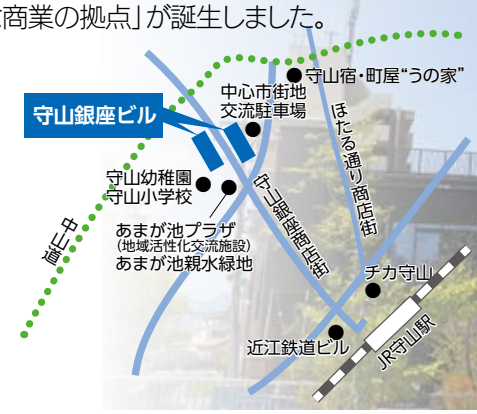
No. 1288
2020年5月15日号

守山銀座ビルがグランドオープン

中心市街地活性化基本計画の主要事業の1つで、市内の中心商店街の核として整備が進められていた守山銀座ビルは、昨年5月の西棟オープンに続き、商業施設（1-2階）と共同住宅（3-13階、66戸）を併設する東棟が完成し、5月2日にグランドオープンを迎えました（式典などは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため自粛）。新たな人の流れとにぎわいを生み出し、市内全体の魅力向上につながる「守山の新たな商業の拠点」が誕生しました。



問守山銀座ビル市街地再開発組合事務局　☎(582)3381
都市計画・交通政策課　☎・有(582)1132　FAX(582)6947

佐川美術館
アートコラム㉝

ポーズが生み出す影

佐川美術館
学芸員：相田莉央

彫刻は絵画と異なり、立体であるが故に、展示における空間の取り方や、照明のあて方に工夫が必要です。

彫刻は凹凸があることで、光をあてた時に影が生まれ、立体であることを認識させます。絵画の場合は、建物や人の影を描きこむことで写実性が増し、よりリアルに近づきますが、彫刻の場合は、照明をあてると身体の凹凸がより際立ち、さらに像のシルエットが影となって浮かび上がります。動作の大きいポーズでは腕の向きや角度により像そのものに部分的に影がかかることもあります。彫刻と影は密接に関わっており、何より影そのものが、作品の一部となります。

彫刻家・佐藤忠良は、影を意識したポーズをとる作品を制作しました。《翳》という作品では、腰を大きく曲げ、両手を頭の後ろに回し、髪を掴んでいます。女性的なしなやかさが際立つこのポーズは、表情が両腕の影で隠れ、寂しげで、どこか憂いを感じさせ、見る者の感傷を誘います。佐藤の代表作の「帽子シリーズ」でも帽子で表情が隠れ、ミステリアスな雰囲気をまとっています。

佐藤が彫刻家になるきっかけとなった近代彫刻家の父、オーギュスト・ロダンも「陰は傑作を愛すと言ってもよい。（中略）陰は神秘を以て美を囲む」と自著で述べ、彫刻における陰の芸術（美）の重要性を説いています。

佐藤は光が映し出す影さえも計算しながら、さまざまなポーズに挑戦したのでしょう。全体のバランスを保ちつつ、パーツ一つ一つに、佐藤のこだわりが込められています。

※新型コロナウイルス感染症防止のため、臨時休館している場合があります。来館前にホームページでご確認いただくか、電話（585-7800）で問い合わせください。

（広報もりやまは右記施設に設置）
市役所、各地区会館、JR守山駅（駅前総合案内所）、図書館、すこやかセンター、市内金融機関、市内郵便局、市内平和堂各店とアルプラザ栗東、丸善守山店、市内セブン-イレブン（一部店舗）などに設置しています。スマートフォンアプリでもご覧いただけます。

マチイロ
ここからアクセス
「マチイロ」アプリをインストール

ちいき本棚
ここからアクセス
「Sidebooks」アプリをインストールし、「ちいき本棚」を選択

※アプリの使用は無料ですが、通信費は各回線ごとのご負担となります。
※アプリの閲覧中に広告が表示されますが、その内容に守山市は責任を負いません。

守山ニュース
「守山ニュース」びわ湖放送
毎月第1・3金曜日放送中

「ホタルの住むまちづくり！〝ほたる〟クイズ」（再放送）
5月15日（金）18:55～19:00
「〝輝く！〟もりやま琵琶湖パール（仮）」
6月5日（金）18:55～19:00

守山市Facebook
Fontworks UD FONT
VEGETABLE OIL INK

守山市役所／〒524-8585 守山市吉身二丁目5番22号
TEL 077-583-2525（代表）
http://www.city.moriyama.lg.jp
編集・発行／守山市企画政策課秘書広報室
TEL 077-582-1164　FAX 077-583-5066
E-mail hisho@city.moriyama.lg.jp